

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 学年・学科・授業クラス |
|-----|-----|-----|------------------|
| 芸術 | 音楽Ⅰ | 2 | 1年生 普通科・水産科 音楽選択 |

| | | | |
|----------|---|--|--|
| 目標 | 科目概要と | | 音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。 |
| 教科書・副教材 | | MOUSA 1(教育芸術社) | |
| 評価の観点と材料 | 知識・技能 | 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができたか。 【評価材料】 実技試験、筆記試験、実技発表会 | |
| | 思考・判断・表現 | 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができたか。 【評価材料】 提出物、授業内の取り組みの様子、実技試験 | |
| | 主体的に学習に向かう態度 | 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができたか。 【評価材料】 出席状況、提出物、授業内の取り組みの様子 | |
| 評価の方法 | ◎上記評価の観点について、それぞれA・B・Cの3つの段階で評価します。 「総合的にみて十分満足できると判断されるもの」・・・A 「総合的にみておおむね満足できると判断されるもの」・・・B 「総合的にみて努力を要すると判断されるもの」・・・C | | |

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（知識・技能）b（思考・判断・表現）c（主体的に学習に向かう態度）

| 月 | 学習内容 | 学習のねらい・活動 | 評価の観点 | | |
|----|---|--|------------|------------|------------|
| | | | a | b | c |
| 4 | のびのびと歌おう ・オリエンテーション ・校歌 ・ポピュラーソング | ・音楽の学習内容について理解する。 ・姿勢や発声法に気をつけて歌うことができる。 ・曲に応じた発声を考えながら、いきいきと歌唱表現することができる。 | ○ ○ | ○ ○ | ○ ○ |
| 5 | リズムと楽器の音色を楽しもう ・「ボレロ」 ・リズム、旋律、 楽器、音色 | ・オーケストラに使用される楽器について理解する。 ・リズムの特徴を知覚し、オーケストラの持つ音色のよさを感じ取ることができる。 | ○ ○ | ○ | ○ ○ |
| 6 | ボディーパーカッションに挑戦 | ・リズムを正確に読み、演奏する。 ・身体を効果的に使い、音色や奏法を工夫する。 | ○ | ○ ○ | ○ |
| 7 | 舞台芸術を楽しもうⅠ（ミュージカル） | ・ミュージカルの成り立ちや特徴について理解する。 | ○ | | ○ |
| 8 | ミュージカルの基礎 知識、歌、発声法、ダンス、演技 | ・物語の背景や、登場人物の心情を音楽との関わりを感じ取ることができる。 | | ○ | ○ |
| 9 | ギターを演奏しよう | ・ギターの種類や各部名称について理解する。 | ○ | | ○ |
| 10 | 基礎知識、奏法 | ・正しい奏法で演奏することができる。 | ○ | ○ | |
| | イタリア歌曲を歌おう イタリア語の発音、 発声法 | ・イタリア歌曲の特徴を理解する。 ・伴奏のリズムを聴き取り、そのよさを感じ取ることができる。 ・発声を考えながら、楽曲に合った発声法で表現することができる。 | ○ ○ | ○ | ○ ○ |
| 11 | | | ○ | | |
| | 日本の伝統和楽器 和太鼓に親しもう | ・和太鼓の基礎知識理解 ・創作アンサンブル ・和太鼓の音色のよさを生かしてリズム・強弱を工夫する。 | ○ | ○ | ○ |
| 12 | | | | | |
| | 舞台芸術を楽しもうⅡ（オペラ） | ・オペラの成り立ちや特徴について理解する。 ・物語の背景や、登場人物の心情を音楽との関わりを感じ取ることができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 1 | | | | | |
| 2 | 歌に心を込めて | ・曲に応じ発声方法を工夫し、歌詞などを考え深めながら表現することができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 作曲家の生涯と作品を辿ろう | ・作曲家の生きた時代の音楽の特徴を理解する。 ・作品を味わう | ○ | | ○ |
| | メロディ創作に挑戦 | ・音階を選んでメロディを創る。 ・創りたいイメージを膨らませる。 | ○ | ○ ○ | ○ ○ |

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 学年・学科・授業クラス |
|-----|-----|-----|-------------|
| 芸術 | 音楽Ⅱ | 2 | 2年 普通科 音楽選択 |

| | | | |
|---------------------|---|--|--|
| 科目 概要 と 目標 | 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。 | | |
| 教科書・副教材 | | MOUSA 2（教育芸術社） | |
| 評価 の 観 点 | 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 | |
| | 音楽表現の創意工夫 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 | |
| | 音楽表現の技能 | 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表す。 | |
| | 鑑賞の能力 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | |
| 評価の方法 | 授業内の活動の取り組みの様子、実技発表会、実技試験、筆記試験を勘案し、総合的に判断する。 | | |

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）d（知識・理解）

| 月 | 学習内容 | 学習のねらい・活動 | 評価の観点 | | | |
|----|----------------------------|---|-------|---|---|---|
| | | | a | b | c | d |
| 4月 | 正しい発声法を身につけよう ポピュラーソング等 | ・楽曲に合った発声法を考え、表現することができる。 | ○ | ○ | ○ | |
| 5月 | 舞台芸術を楽しもうⅠ（ミュージカル） | ・文化的・歴史的背景について理解を深める。 ・その中の曲について特徴を捉えながら表現を工夫する。 | ○ | ○ | | ○ |
| 6月 | ハンドベルを演奏しよう | ・楽器の扱い方を理解する。 ・美しい音色が出せるように工夫して、アンサンブルを行う。 | ○ | ○ | ○ | |

| | | | | | | |
|----------------|--|--|------------|-----------|-----------|---|
| 7月 | 世界のポピュラー音楽や、諸民族の音楽に親しもう | ・それぞれの音楽の特徴を捉え、その特徴を感じ取ることができる。 | ○ | | | ○ |
| 8月 9月 | 様々な楽器によるアンサンブルを味わおう | ・必要なコードを習得して演奏できる。 ・コードネームを理解できる。 ・音色や奏法の特徴を理解し、表現を工夫する。 | ○ | ○ | ○ | |
| 10月 | 作曲者の思いやイメージを感じ取ろう | ・作曲家の生涯や時代背景について学習する。 ・代表的な作品を取り上げ、音楽が形づくっている要素に着目して特徴を聴きとる。 | ○ | | | ○ |
| 11月 | 作曲に挑戦しよう | ・メロディ創作 ・作りたい曲の雰囲気を考え、リズムを工夫して表現する。 | ○ | ○ | ○ | |
| 12月 | 日本や世界の歌曲に親しもう | ・言葉の特徴を捉え、歴史的背景を理解しながら、楽曲にふさわしい表現を工夫することができる。 | ○ | ○ | ○ | |
| 1月 2月 3月 | 舞台芸術を楽しもうⅡ(バレエ) 合唱を楽しもう (ボーカルアンサンブル) | ・バレエの特徴や成り立ちを理解できたか。 ・作品を深く味わうことができたか。 ・各パートの役割を意識しながら表現を工夫する。 | ○ ○ | ○ | ○ | ○ |

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 学年・学科・授業クラス |
|--------|--------|-----|-------------|
| 芸術(音楽) | 応用音楽 B | 4 | 3 年 普通科選択 c |

| | | | |
|---------|---|---|--|
| 科目概要と目標 | 音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現するための基礎的な能力を養う。 | | |
| 教科書・副教材 | | The Basics of Music（教育芸術社） | |
| 評価の観点 | 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組むものとする。 | |
| | 音楽表現の創意工夫 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 | |
| | 音楽表現の技能 | 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。 | |
| | 鑑賞の能力 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。 | |
| 評価の方法 | 授業の活動の様子、実技試験や筆記試験等を勘案して総合的に評価する。 | | |

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）d（知識・理解）

| 月 | 学習内容 | 学習のねらい・活動 | 評価の観点 | | | |
|-----|-------------|--|-------|---|---|---|
| | | | a | b | c | d |
| 4 月 | 授業オリエンテーション | ・ 授業内容の理解 ・ 発声 ・ 合唱曲 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 月 | 楽典 I | ・ 楽典の基礎 I 音名、音符、休符、リズム | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 6 月 | ピアノ演習 I | ・ バーナムピアノテクニック I ・ 練習曲集「バイエル」 ・ 自由曲（発表会） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7 月 | 視奏視唱 | ・ コールユーブンゲン ・ コンコーネ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | |
|------|--------|---|---|---|---|---|
| 8 月 | 聴音 | ・ 単音の簡単なもので、音程感覚を捉える | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9 月 | 楽典Ⅱ | ・ 楽典の基礎Ⅱ 音程、音階、調、 コードネーム | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 月 | ピアノ演習Ⅱ | ・ バーナムピアノテクニックⅡ ・ 練習曲集 「バイエル」 ・ 自由曲（発表会） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 11 月 | 視奏視唱 | ・ コールユーブンゲン ・ コンコーネ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12 月 | 聴音 | ・ 単音の簡単なもの ・ 一部和音を用いた もの | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 1 月 | 歌唱 | ・ 合唱曲（アンサンブル） | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 月 | | | | | | |
| 3 月 | | | | | | |

令和4年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 学年・学科・授業クラス |
|--------|--------|-----|----------------|
| 芸術(音楽) | 応用音楽 A | 2 | 3年普通科・水産科 選択 d |

| | | | |
|---------|---|--|--|
| 科目概要と目標 | 我が国及び諸外国の音楽の歴史について理解を深め、多様な音楽の文化的価値を捉える能力を養う。 | | |
| 教科書・副教材 | | MUSIC NOTE（啓隆社） | |
| 評価の観点 | 音楽への関心・意欲・態度 | 音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとする。 | |
| | 音楽表現の創意工夫 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 | |
| | 音楽表現の技能 | 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。 | |
| | 鑑賞の能力 | 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | |
| 評価の方法 | 授業の活動の様子、定期試験や提出物を勘案して総合的に評価する。 | | |

学習計画および評価方法 等（科の特性に応じて書式や項目を改変してください）

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）d（知識・理解）

| 月 | 学習内容 | 学習のねらい・活動 | 評価の観点 | | | |
|----|-------------------------|--|-------|---|---|---|
| | | | a | b | c | d |
| 4月 | ①古代・中世 ルネサンス バロック | <ul style="list-style-type: none"> ・ 古代・中世の音楽の特徴 ・ グレゴリオ聖歌 ・ 単旋律音楽と多声音楽 ・ ルネサンス音楽の特徴 ・ 教会音楽 ・ バロック音楽 ・ 器楽作品 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5月 | | | | | | |
| 6月 | | | | | | |
| 7月 | ②古典派 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典派音楽の特徴 ・ ピアノソナタ ・ 弦楽四重奏曲 ・ 交響曲 ・ 協奏曲 ・ オペラ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | |
|-----|--------------------|--|---|---|---|---|
| 8月 | ③ロマン派 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロマン派音楽の特徴 ・歌曲 ・ピアノ作品 ・管弦楽作品 ・協奏曲 ・オペラ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 9月 | | | | | | |
| 10月 | | | | | | |
| 11月 | ④近・現代の音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・近現代音楽の特徴 ・ピアノ作品 ・バレエ音楽 ・交響曲 ・管弦楽作品 ・吹奏楽作品 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 12月 | | | | | | |
| 1月 | ⑤ポピュラー音楽・民族音楽・日本音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル音楽 ・ジャズ ・アフリカの音楽 ・アジアの音楽 ・北欧地域の音楽 ・歌舞伎 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2月 | | | | | | |
| 3月 | | | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・各時代の歴史的背景及び音楽的特徴について、代表的な作曲家の名作を基に学習していく。 ・音楽を形づくる要素を知覚・感受し、自分なりの言葉でよさを表現する。 | | | | |